



下大和田谷津田だより



2005年8月号

第66回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

7月3日 くもり

イベント続きの観察会が続きましたが今回はいつもの観察会に戻りました。開花植物はやや端境期で少なくなっていました。生き物は曇り空で、活発に活動はしていませんでしたがそれでもたくさん目の前に現れてくれました。平沼班は観察会終了後、平沼田んぼの生き物調査をしました。そこで観察されたものも加えてあります。

開花植物：ヒメジョオン、セイヨウタンポポ、ノボロギク、ノゲシ、ホタルブクロ、オオバコ、セリ、コマツヨイグサ、シロツメクサ、オッタチカタバミ、スカシタゴボウ、ケキツネノボタン、ミドリハコベ、ドクダミ、エノコログサ、シマスズメノヒエ、ネジバナ、ツククサ、ムラサキシキブ。田んぼにはイチヨウウキゴケ、ミズニラなどもみられた。

昆虫：カラスアゲハ幼虫、キアゲハ成虫・幼虫、モンキチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ルリタテハ、ヒカゲチョウ、サトキマダラヒカゲ、オオチャバネセセリ、クワゴ幼虫、シャクガsp.幼虫、キハダカノコ、チャミノガ蓑、カナブン、マメコガネ、テントウムシ、ナナホシテントウ、タマムシ、コメツキムシsp.、コフキゾウムシ、シロコブゾウムシ、イネクビホソハムシ幼虫〔ドロオイムシ〕、ヨツボシオオキスイ、アオカミキリモドキ、ガムシsp.?〔水中〕、ショウリョウバッタ、ツチイナゴ、ヒメギス、オオカマキリ仔、バッタ・キリギリス類幼虫多、アジアイトトンボ、カワトンボ、シオカラトンボ、ノシメトンボ、ヤニサシガメ、ヨコズナサシガメ、アメンボ、ヒメアメンボ、タイコウチ、オオスズメバチ、ヒメスズメバチ、フタモンアシナガバチ、セイヨウミツバチ、キンバエsp.、オオハナアブ、ハナアブsp.。

野鳥：ホトトギス、カワセミ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、ハシブトガラス。

その他：コガネグモ、ナガコガネグモ、ドヨウオニグモ、アシナガグモ、サツマノミダマシ、ハエトリグモsp.、カバキコマチグモ。メダカ、タモロコ、ドジョウ、ギンブナ、ザリガニ、ミスジマイマイ、ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエル、ニホンアマガエル、オタマジャクシsp.。

(参加者：大人11人子ども4人；報告：網代春男)

第50回谷津田プレートッド・プロジェクト(YPP)

「田んぼの生きものと遊ぼう！」

7月23日 くもり

朝は雨模様で大丈夫かな？と思ったのですが、さすがYPPではじまる前には雨が上がり、最後は青空がのぞくさわやかな天気恵まれ「田んぼの生きものと遊ぼう！」のイベントができました。

同じ幼稚園に通うお子さんを持つ6家族がはじめて参加してくれました。真新しい虫取り網やたもを手にした子どもたちがいっぱい！さっそく水路の周りで生きものさがしをしました。「すげえ！ザリガニ！」、「おさなかな、おさなかな！」、「わっ、でかいクモ！」、「ちっちゃいカエル、かわいいよ！」と次々に網に入る生きものにあちこちで歓声があがります。こんなにたくさん生きものが暮らす場所で遊ぶのははじめてのようでした。捕まえたカエルを使つての恒例のジャンプ大会は、自分の順番が待てないほどの人気。たくさん跳んでくれて満面の笑顔を見せたり、なかなか跳ばないカエルに思わず声をかけたり... カエルの次は子どもたちの番で、真剣な顔つきでカエルに負けないように一生懸命ジャンプしていました。コガネグモのクモ合戦には子どもたちの目が釘付け。子どもだけでなく大人からも声援が飛んでいました。

最後に地元の林さんが届けてくれたノギリクワガタをプレゼントされて、みんな満足そうな顔つきで田んぼをあとにしました。ふだんはムシキング遊びなどに興じている子どもたちにとって、本物の生きものを手にしたことはとてもいい体験だったことでしょう。ザリガニに指をはさまれて悲鳴をあげたこともよい思い出だったと思います。イベントの写真をちば・谷津田フォーラムのホームページに掲載しましたのでぜひご覧下さい (<http://yatsuda.2.pro.tok2.com/report.html>)。

(参加者：大人16人・小学生5人・乳幼児12人、報告：高山邦明)

下大和田季節のたより

7月16日 夕暮れの谷津田はさわやかな風とヒグラシのもの悲しい声に包まれ、クヌギの樹液にルリタテハが集まり、オオシオカラトンボが田んぼで産卵していた(田中)

7月23日 田んぼの周りに3~4センチに成長したアカガエルたちがはね回る。田んぼの中でたくさんのメダカが泳ぎ、上空をシオカラトンボやナツアカネなどが飛翔(高山)

本格的な夏を迎え、田んぼではイネの花が咲いています。カブトムシやセミ、ザリガニなど子どもたちが大好きな生きものが一杯の谷津田で夏休みの一日を過ごしてみませんか？

高山邦明